
ステイアウェイ トウ ヘヴン

夏木 岳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ステイアウェイ トウ ヘヴン

【Nコード】

N0734E

【作者名】

夏木 岳

【あらすじ】

天地が空に隔てられた時代。流れる雲の隙間から天使の笑顔を見た。私は働いていた。

1

「何をしているのですか」

旅人は言った。老人は答えた。

「空を見ているんです」

旅人は言われて首を持ち上げた。曇って面白みのない空がそこにある。もう雨の降りそうなどんより思い雲以外に何も無い。

「昨日も一昨日もこれを」

旅人も老人も、同じものを見ていた。

「ええ。今日と同じ空をいつも見ています」

旅人は少し老人を疑った。こんなにもつまらないものに時間をかけるなど、栓のないことだと思っていた。それに、晴れない空などあるはずがない。

「どこに風情でもあるのですか」

旅人は言った。

「そんなもの、ありはしませんよ。私は天使達の隙を伺っているのです」

老人は答えた。

2

「何をしているのですか」

旅人は言った。女性も答えた。

「雲の切れ間を見ているのです」

「しかし、貴方は泉をみているではないですか」

町の噴水に映る女性は、顔もなく言葉にした。

「私には、直接見るには堪えられないのです」

たしかに、水面にはあの空がある。だが旅人は未だ理解できなかった。なぜ空を。

「天使達は見えますか」

「顔も伺えます。ですが、彼らは私に気付くことはないでしょう」
女性は答えた。

3

旅人は再び老人を訪ねた。老人はやはり空を見ていた。

「天使達に会いに行かないのですか」

旅人は言った。老人は答えた。

「私達には会う資格も権利もありません。この悪魔の翼は彼らとは対等ではないのですから」

老人は続けた。

「幾ら大金を積もうと、紙のように吸い取られてしまう。黄金では天国への階段にはならないのですよ。では、どうすればよいと思います」

旅人は少し首を傾げる。

どうすればいい。漠然とした答すら出ず、考えれば考えるほどわからなくなっていく。

「私には難しいようです。ですが、興味が沸きました」

旅人は空を見つめ、その一点を見つめた。

「私自身で確かめます。天国へ行ってみようと思うのです」

4

旅人は今頃天国へたどり着いている頃。きっと気付いただろう。私達と、天使達に。確かにヒトには変わりないだろう。形も変わらないだろう。だが彼らの目は私達の魂を染め上げて映し、その色の違いに天使達と私達を隔てたのだ。

魂は無色だ。命は無色だ。目に見えるものを信じてはいけない。天使達もきつといつかそれに気付くだろう。だが、旅人。君が絶望するであろうこの空は、鉄でできているのだ。錆びない銀は美しかろう。それほどに完璧な鋼鉄なのだ。

（後書き）

リハビリ作品、テーマは差別。批評指摘どしどし送ってください。

…半年近く掲載してなくてごめんなさい。気付いたら作者は、作品はnまでいつてるのねん。びつくりだぜー。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0734e/>

ステイアウェイ トウ ヘヴン

2010年10月12日02時32分発行